

平成28事業年度

# 財務レポート

北見工業大学

国立大学法人

北見工業大学

## 教育研究事業の推進 施設・設備の整備

本学の強み・特色であるエネルギーなどの研究を基礎として、1次産業の雇用創出等の地域課題解決につながる研究を行いました。また、平成29年度の学部改組に向け、新しい時代を切り拓く人材育成のための環境づくりを行いました。

### 寒冷地域に最適化したスーパーハイブリッド型省エネ環境保全植物工場



小型植物実験室を稼働させ、高機能汎用野菜（カリウム調整レタス等）や薬用植物（カンゾウ等）の試験栽培に成功しました。

財源：運営費交付金 事業費：14百万円

### 表層ガスハイドレートフィールド調査を活用した教育研究実習プログラム推進事業



学生に実践的な教育の場を提供するため、国内（紋別沖、網走沖）に加えてバイカル湖でフィールド実習及び分析実習を実施し、約100人の学生が参加し知見を広めました。

財源：運営費交付金 事業費：19百万円

### 平成29年度の学部改組に向けた準備



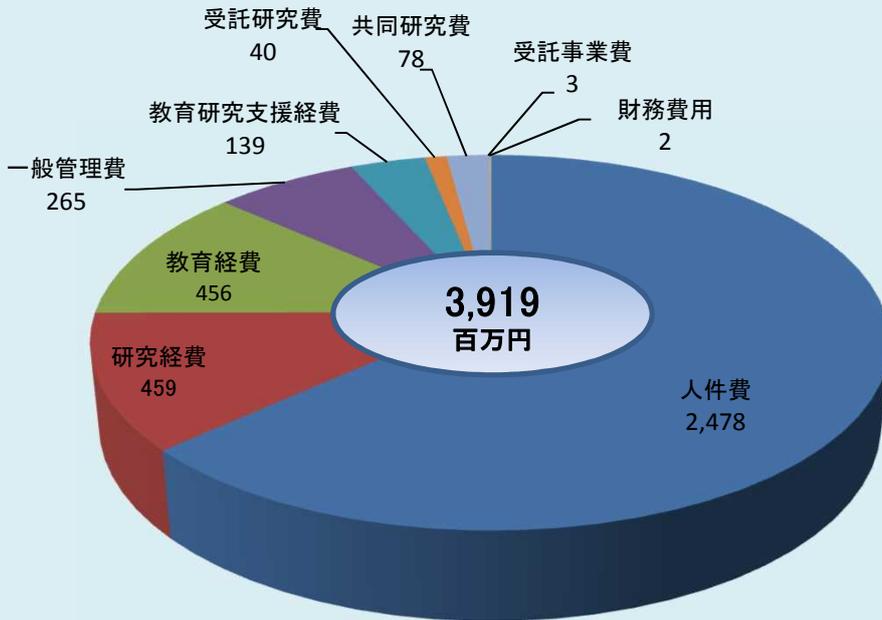
平成29年度の学部改組に向けた準備のため、情報処理センター演習室を第1総合研究棟3階に移転しました。また、分光光度計、超純水製造装置、旋盤等を導入しました。

財源：自己収入等 事業費：54百万円

# 平成28事業年度の損益報告

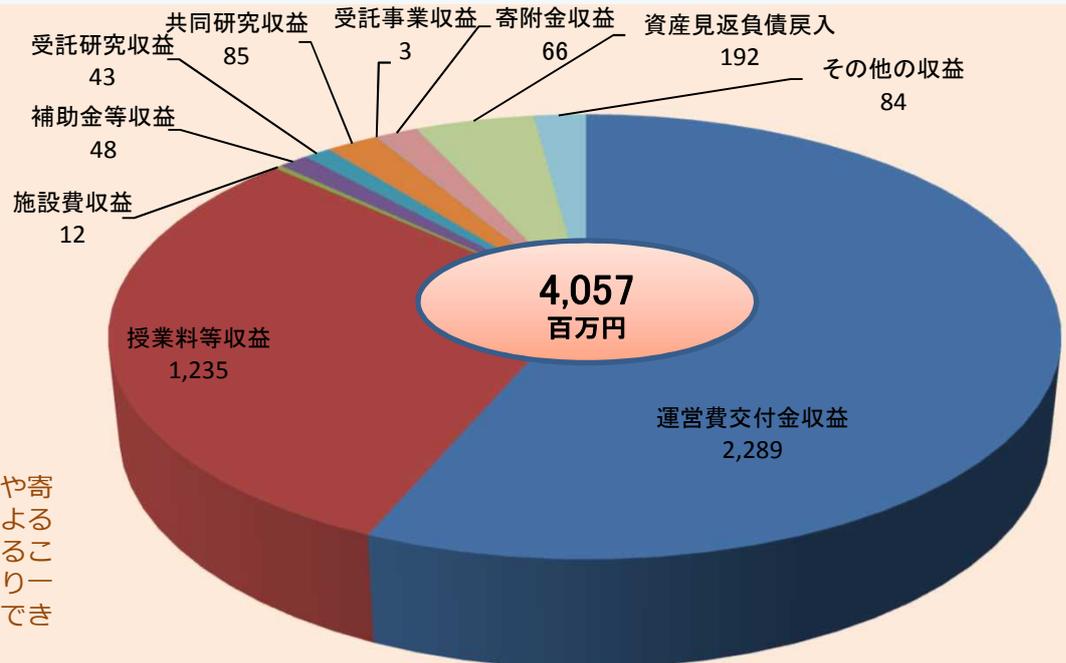
単位:百万円  
(詳細は財務諸表をご覧ください)

## 経常費用



人材育成に直接関連する教育経費については、人件費や一般管理費を含む他経費とのバランスに留意しながら確保に努めることが重要です。

## 経常収益



受託研究、共同研究や寄附などの外部資金による収益基盤を充実させることで、大学運営をより一層安定させることができます。

## 経常利益

経常費用	3,919
経常収益	4,057
経常利益	138

## 経営努力等

### 経費削減への取り組み

- 近隣の私立大学（日赤看護大）と物品等の共同調達に関する覚書を締結。
- 会議資料のペーパーレス化を図るため「ペーパーレス会議システム」を整備。
- 事務局事務費を対前年度比で2%抑制。

### 自己収入確保への取り組み

- オホーツク管内の全14 農業協同組合の長により組織される「オホーツク農業協同組合長会」と包括連携協定を締結するとともに、1 次産業に関連する新たな共同研究契約を5 件165 万円獲得。
- 寄附金獲得戦略の一環として、本学の教育、研究活動に対する個人からの寄付を促進するため、新たに「修学支援基金」を設置。

### 情報セキュリティ対策の強化

- 情報セキュリティポリシー実施手順を整備。また、全教職員に対して情報セキュリティ教育（eラーニング研修）を実施。

## 資産の状況

単位：百万円

	平成28年度	平成27年度	増減		平成28年度	平成27年度	増減
資産の部	9,430	9,615	▲185	負債の部	2,798	2,841	▲43
土地	1,566	1,566	0	資産見返負債	1,818	1,883	▲65
建物・構築物	5,334	5,564	▲230	その他の固定負債	196	64	132
機械装置・工具器具備品	703	672	31	運営費交付金債務	0	0	0
図書	1,007	1,006	1	その他の流動負債	784	894	▲110
その他の固定資産	44	31	13	純資産の部	6,632	6,773	▲141
現金・預金	742	728	14	政府出資金	4,333	4,333	0
その他の流動資産	32	47	▲15	その他の純資産	2,298	2,440	▲142

## 北見工業大学の理念と使命

北見工業大学は「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」を理念に掲げ、高度化・複雑化している科学技術の急速な進展の中で、「個々の専門分野についての基盤的な技術、知識を有するのみならず、学際領域や新しい分野の開拓にも柔軟に対応できる能力を持ち、自然と調和した科学技術の発展と国際社会への対応を念頭においた技術開発を行い得る人材を養成する」ことを使命としている。このことをもって、本学は地域社会の発展はもとより、国家・国際社会の安全と平和および文化の進展に貢献する。

## 北見工業大学の基本目標

- 向学心を喚起し、創造性を育み、将来の夢を拓く教育
- 個性に輝き、知の世紀をリードし、地域特色のある研究
- 地域のニーズに応え、地域をリードし、地域の発展に貢献
- 国際的視野を踏まえた教育研究、学生・教職員の国際化を推進